CHARTERED
INTERNATIONAL
since 1922

福岡中央
FUKUOKA CHUO

福岡中央ワイズメンズクラブ　ブリテン　2014 年 12 月 1 日発行　　URL http://www.fukuchu-ys.com/

2014. 12

会長　伊藤　和行

会長　主題

若者とともに働こう、未来へ
Work with Youth for the Future.

今 月 の 聖 句

そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録せよとの勅令が出た。これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いいなづけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊る場所がなかったからである。

ルカによる福音書 第２章１－７節

解説：皇帝アウグストゥスの施政の時代、住民登録のために住民はそれぞれの自分の町へ帰らなければなりませんでした。ヨセフとマリアもガリラヤからベツレヘムへ向いますが、道中マリアは月満ちて、ゆっくり休む宿屋は満員で泊まるところがありませんでした。ようやく見つけた所は、馬小屋のような所でした。イエスの誕生を最初に知ったのは羊飼いたちでした。粗末な馬小屋、最下層の羊飼いたち、神の子イエスはこのようなお粗末な環境で誕生し、その生涯がここから始まりました。私たちの罪を一手に引き受け、十字架に架けられた、その贖いの意味をよく理解することが、何よりもまして主の誕生を祝うことになるのではないでしょうか。　（壹岐　裕志）

メリークリスマス。12 月の西日本区活動テーマは「EMC - E YES」です。「E は Extension（新クラブ設立）。YES は、新クラブ設立を支援する基金です。この献金で集められた資金の 2/ 3 は、集められたエリアに戻され、エリアの中で使われます。」福岡中央クラブは 1987 年に博多オーシャンクラブを Extension しています。7 名のクラブメンバーが中心となって新クラブが誕生したのです。福岡中央クラブが中村ワイズを日本区理事として、日本区大会を開催した勢いを駆ってのことだったと思います。

11 月 29 日、八代ワイズメンズクラブ 25 周年記念例会が八代ホワイトパレスで行われました。松本西日本区理事、亀浦九州部長、をはじめ九州部 12 クラブ、60 名が集まりました。八代ワイズメンズクラブ 25 年の歩みなかで、熊本クラブ、熊本ジェーズクラブをスポンサークラブとして誕生したと記されています。1989 年 5 月 5 日、設立総会には出席者総数 78 名、仮クラブ会員 18 名、仮クラブ会長宮川輝之氏となっています。デイキャンプがクラブ活動の中心をなし、今年 17 回をむかえています。

福岡中央クラブは来年 5 月、35 周年をむかえます。5 月、トンネクラブとの IBC 例会の時に記念例会をと考えています。そのための準備を始めなければなりません。過去をたどることは未来を探ることだと思います。

12 月の予定　PLAN OF DECEMBER

第１例会：　１２月１９日（金）
１９：００～２１：００
会　　場：　日本聖公会福岡教会
☎０９２-４５１-０１１１
内　　容：　クリスマス礼拝・祝会
ドライバー　岡ワイズ

第２例会：　１２月１１日（木）
１８：３０～２０：３０
会　　場：　福岡YMCA　天神校
☎０９２-７８１-７４１０

11 月のデータ　DATA OF NOVEMBER

●１１月在籍者：**１７人**

	第１例会	第２例会
メンバー	１０名	８名
メネット	４名	０名
ゲ ス ト	１３名	名
ビジター	０名	０名

●１１月出席率：　**８７．５%**

１１月２１日（木）　第１例会
１１月２８日（木）　第２例会

今月までのファンドの状況

FUND　ファンド

１１月	第１例会	０円
	第２例会	０円
累　計		１５，０００円

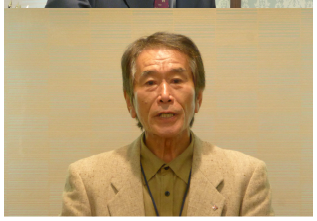
福岡中央ワイズメンズクラブの
ブリテンは再生紙を使っています！
SAVE THE EARTH!

国 際 会 長 主題　Isaac Palathinkal (India)　“Talk Less,Do More”　「言葉より行動を」
アジア地域会長 主題　岡野　泰和（大阪土佐堀）　“Start Future Now”　「未来を始めよう、今すぐに」
西日本区理事 主題　松本　武彦（大阪西）　「響き合い、ともに歩む」　“To walk together,echoing each other”
九 州 部 部 長 主題　亀浦　正行（熊本にし）　「あなたからわたしへ　わたしからあなたへ」
“Y's sprit, from you to me and from me to you for generations!”

CLUB OFFICE　福岡市城南区七隈 1-10-10　092-831-1771
1-10-10, Nanakuma Jyonan-ku, Fukuoka city　814-0133　JAPAN

11 月 福 岡 地 区 3 ク ラ ブ 合 同 例 会 報 告

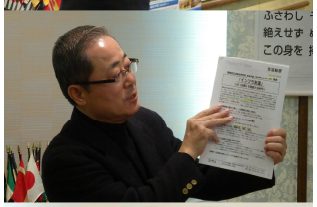
ドライバー　大浦　敬規



2014 年 11 月は亀浦九州部長を迎えて、福岡中央、北九州、そして、博多オーシャンクラブの福岡 3 クラブ合同例会でした。

出席者は福岡中央メン、メネット 14 名、北九州 6 名、博多オーシャン 4 名、ゲストに向谷 YMCA 総主事、大谷賢司氏を迎えて、27 名でした。

今回は各クラブから 1 名ずつのスピーチをお願いし、福岡中央から坂本 毅氏が中国内モンゴル自治区でやっている植林活動の紹介。北九州からは宮崎 早都香さんが同クラブの文筆家宮川 詩麻さんこと田中 万知子さんの出版本の紹介。博多オーシャンからは、森 誠氏が博報堂の資料による昨今の世相の状況。などをご講演して頂き、クラブ紹介、会員それぞれの会話、と続き時間が足らないうちに閉会点鐘となりました。



第 2 例 会 報 告　　11月27日

出席者　　伊藤　壹岐　大浦　岡　草場　中村　堀田　松井

12 月第 2 例会　11 日（木）
12 月例会　　19 日（金）　ドライバー　岡さん
　　内容　クリスマス例会
　　役割分担、会費、招待者
ブリテン 12 月号
　　聖句と解説（壹岐さん）　11 月例会報告（大浦さん）
　　誕生日コメント（奥村さん、坂本さん）結婚記念日はなし
1 月例会　　8 日（木）ドライバー　小田さん
　　新年例会
ジャガイモ・カボチャの販売収支報告
　　今年度決算報告
　　次年度の課題　匠社寺建築社さんの事務所での集金を極力やめる。
　　クラブから出張し交代で受付業務をする。
古切手の整理
　　1 月 17 日（土）14：00～　中村さん宅で行います。

メ ン バ ー の 受 賞【市長感謝状(公衆衛生功労者)】報 告

去る 12 月 3 日、福岡市役所 15 階の講堂で、「福岡市保健衛生大会」が開催されました。高島市長より、長年功績のあった方に感謝状が授与されました。その受賞者の中に、なんと、わが福岡中央のメンバー、松井 カツ子氏がいらっしゃいました。福岡市中央区において、献身的に公衆衛生の向上に寄与されたことが評価されたようです。

松井さんおめでとうございました！今後とも地域のために、ワイズのためにがんばってくださ～い！！

HAPPY BIRTHDAY OUR FRIENDS!!

奥村　洋充　OKUMURA, Hiromitsu　12月4日生まれ

12月4日で39になりました。40を目の前にして、惑ってばかりの毎日に不安を覚えております。しかしながら YMCA に育てられていることを感謝し、日々頑張りたいと思います。
近年海外に出ることが多く、大きな視野を与えられていることに感謝です。特に食べ物は色々なものがあるなと感心しています。写真はこの前ネパールで食べたバファローの脳ミソと胃袋です。珍味でした。

坂本　毅　SAKAMOTO, Takeshi　12月16日生まれ

ワイズメンズクラブに入って初めて迎える誕生日。49 歳になりました。来年は飛躍の年にしたいと思います。よろしくお願いします。

YMCAニュース　Y&Y

●第 5 回福岡YMCAインターナショナル・チャリティーラン

爽やかな天候に恵まれた第 5 回チャリティーランは、多くの方々によるご協力のもと開催することが出来ました。当日の早朝から井上ご夫妻がトラックを運転して運搬を率先して担当してくださいました。また堀田さんがお友達の看護士さんをご紹介いただいたことで、安全面で配慮することが出来ました。松井さんは実行委員会に毎回参加していただき、様々な観点から助言をしてくださいました。福岡中央ワイズからは宣言タイムレース部門 1 チーム、ファミリーパフォーマンス部門 1 チームが参加していただきました。今回、参加費および寄付金総額約 45 万円が、障がいのある子どもたちのプログラム支援に使われます。

ワイズからご参加いただいた実行委員の皆様には、話し合いや募集活動等において多大なご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。本大会は、『心身に障がいのある子どもたちのために何かしら力になりたい』と思ってくださった方々の思いが集まり開催されています。一人一人の力では達成することが難しいことも、同じ思いがたくさん集まれば、大きな力に変わります。そのことに大きく気付かされた一日となりました。

（担当：日田）

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理事通信[VOL. 6] 2014年12月１日発行

2014～2015 西日本区理事　松本　武彦

主題「響き合い、ともに歩む」
“To walk together,echoing each other.”
こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく

これまでも述べてきたことですが、ワイズメンズ運動は、YMCAや地域社会・国際社会への奉仕活動を通じて自己を鍛える機会と交流の喜びを得ることに大きな意義があり、社会的必要性もある、ワイズメンズ運動はまた、自分自身はもちろん、周りの人たちをも勇気付け励ます大きな働きをしている、と確信しています。私たちのワイズメンズ運動は、次世代を担う人々をも励まし続ける貴重な活動であり、これを次世代につなげてゆかなければなりません。そのためには、周りの人たち、特に、次世代を担う若い人たちに、ワイズメンズ運動を、まず、身近なものとして感じ取ってもらう機会を作らなければなりません。周りの人たち、特に若い人たちをクラブ例会やクラブ行事に誘い、私たちのワイズメンズ運動に馴染んでもらいメンバーとなって貰うための工夫が必要です。クラブ例会を多数参加の盛り上がりのある集いとすることの工夫も大事かと思います。このような機会を作る工夫のひとつとして、西日本区内の各地・クラブにおいて、100人例会や合同例会を開催してビジターを誘い、例会プログラムをワイズと一緒に楽しんで頂く催しが行われています。例会参加者数が多いことは、そのことだけでも、ビジターに対し、参加したことの喜びを大きなものとさせることに繋がります。

先月、我々の仲間二人の力強い社会的活動がテレビ番組に取り上げられ報道されました。福岡中央クラブメンバーであって、1987年、享年68で人生の終末を迎えられた杉山龍丸さんのインドにおける緑化運動を取り上げたテレビ東京系11月4日（火）午後7時からの報道番組「ありえへん∞世界＜世界と日本の知られざる絆＞インド編」がその一つ。二つ目の報道は、鳥取クラブメンバーである藤原和寛さんの、故郷・鳥取県智頭町における地方活性化のためのお働きを取り上げたテレビ朝日系11月15日（土）午後6時からの報道番組「人生の楽園 夫婦で探す故郷の宝」です。藤原さんは、かつて農業で栄えた自分の故郷が次第に衰退していく様子に胸を痛め、故郷をもう一度元気にしたいと5年前、52歳で早期退職し、奥さまと一緒にUターンして、地元の杉を使った木工を始めるとともに農業にも取り組み、地元の活性化につなげるため、廃校となった地元小学校の校舎にギャラリーをオープンし、また、地元の方々と男子会や女子会をもって懇親するとともに集落の未来へ向けた話し合いをするなどして、地域の活性化のため、日々奮闘しておられます。藤原さんの地元・智頭町でのご活躍は他の地方の人々にも映って日本のあちこちの地方の方々を勇気づけ励ますでしょう。これらの報道ではお二人がワイズメンであることには触れられていませんが、私たちは、お二人の社会活性化のための力強いお働きに勇気を貰い、これからのワイズメンズ運動を盛り上げて行こうではありませんか。